



社員食堂にはソフトボール大会の優勝旗とともに、当日の写真も飾られる。中には、応援中の前葉市長が写る写真も。

市長 ありがとうございます。

青山 また、前葉市長が就任された当初に、大阪本社へ直接お越しいただき、熱心なセールスをされた行動力も大きな一つの要因だったと感じています。

新しい分野への挑戦

市長 新しい三重工場ではどういった事業をされるのですか。

青山 化成品事業としてプラスチックフィルムを生産します。

市長 繊維の技術を使って、今度はフィルムを作るんですね。

青山 はい。敷地内にある3つの工場それぞれ異なる種類のフィルムを生産することにより、独自の製造技術を有し幅広い機能を持ったフィルムの生産が可能になります。

市長 この工場で作られたフィルムが、我々にとっても身近な携帯電話やいろいろな製品の

中のデリケートな一部分として使われるわけですね。

青山 はい。

市長 こういう最先端の技術や独自の工夫などのお話を伺って、市民の皆さんに関心を持ってもらえるといいですね。

青山 そうですね。特に若い人がこういった分野に興味を持ってもらえれば、うれしいですね。

従業員のつながり 地域とのつながり

青山 新工場が稼働した当初は、他の工場からの転勤者や、市内で新たに採用した人がいるなど、従業員同士のコミュニケーションが少し心配でした。その心配を解消できたきっかけが、ソフトボール大会なんです。

市長 津商工会議所主催の大会ですね。

青山 はい。福利厚生の一環として野球部を立ち上げ、今年6月にソフトボール大会があるのを知って出場したんです。

市長 確かその大会で優勝されましたね。実は私も応援に行かせていただきました。

青山 ありがとうございます。優勝したこともうれしかったんですが、それよりもチームが一丸となってプレーし

援することで、一つになれたことが、非常に大きかったですし、本当にありがたい大会だったなあと思っています。

市長 私としても、地域の催しに参加をしていただいたということで、とてもありがたく思います。

青山 これからも地域とのつながりを大事にしていきたいと思っています。三重工場としてもこれから本番ですので、津市の皆さんのご期待に添えるようにがんばっていきたくと思っています。



第1工場内で生産される実際のフィルムを見せる青山工場長

市長 私もクラブウに続く力強い企業の誘致に、一生懸命がんばっていきたくと思います。青山さん、今日はありがとうございました。

青山 ありがとうございます。

青山 恭弘さん

昭和33年大阪府生まれ。昭和57年倉敷紡績株式会社に入社、津工場実習生として、当時の倉敷紡績津工場へ赴任。平成23年にクラブウ三重工場建設準備室長、平成24年よりクラブウ三重工場長。趣味はソフトボール、将棋。

